



2026FA

ST学部ゼミ要覧

ST Undergraduate  
Seminar Booklet



# 目次 / CONTENTS

J_01	J	轟 博志	TODOROKI Hiroshi
J_02	J	YOUN Seung Ho	
J_03	J	松尾 雄司	MATSUO Yuji
J_04	J	久保 隆行	KUBO Takayuki
J_05	J	大橋 弘明	OHASHI HIROAKI
J_06	J	四本 幸夫	YOTSUMOTO Yukio
J_07	J	木村 力央	KIMURA Rikio
J_08	J	上原 優子	UEHARA Yuko
J_09	J	狩野 英司	KANO Eiji
E/J_01	E/J	VAFADARI Kazem	
E/J_02	E/J	笛吹 理絵	USUI Rie
E/J_03	E/J	韓 驥	HAN Ji
E/J_04	E/J	山根 友美	YAMANE Tomomi
E/J_05	E/J	NISHANTHA Giguruwa	
E/J_06	E/J	DAHLAN Nariman	
E/J_07	E/J	胡 飛瑜	HU Feiyu
E_01	E	BUI Thanh Huong	
E_02	E	SUN Yiyang	
E_03	E	JONES Thomas E.	
E_04	E	MEIRMANOV Serik	
E_05	E	K C Dipendra	

※各教員名をクリックすることでその教員のページへ飛びます。

Clicking on each faculty member's name will take you to that faculty member's page.

※番号はクラスではありません

※The number is not the class number.

# 轟博志ゼミ

(日本語開講/月曜5限)

## 26FA 募集無し

### キーワード

- ・人文地理学
- ・理論観光学
- ・ヘリテージと地域社会
- ・韓国地域研究
- ・場所マーケティング

### コンセントレーション

- ・観光学
- ・地域づくり
- ・観光産業

### 教員の研究情報

- ・古道の復原と活用
  - ・韓国人の心象地理
  - ・シルクロード文明史
- この3つがライフワークです

### 主な担当講義

- ・質的分析技法
  - ・(観光文化論)
  - ・(遺産観光論)
  - ・韓国フィールドスタディ
- ※括弧は役職につき一時的に非担当

### ゼミ紹介

3回生では、場所マーケティング理論に基いた地域づくり調査と合宿を行います。4回生では、上記のキーワードの何れかから選択して、卒業研究に取り組みます。

26FA

募集無し

## 轟ゼミの4年間

5セメ

特定の地域とともに、**観光地域づくりの実習**を行います。行先は毎回異なり、1・2回の合宿が伴います。調査研究の実際を学び合うとともに、ゼミ生間の親交を深めます。

6セメ

各自の研究テーマをもとに、基礎文献を輪読・討論をし、**理論的ベース**を作ります。1Qは単行本、2Qは論文を読みます。（調査地の事情により、5・6セメの入替がありえる）

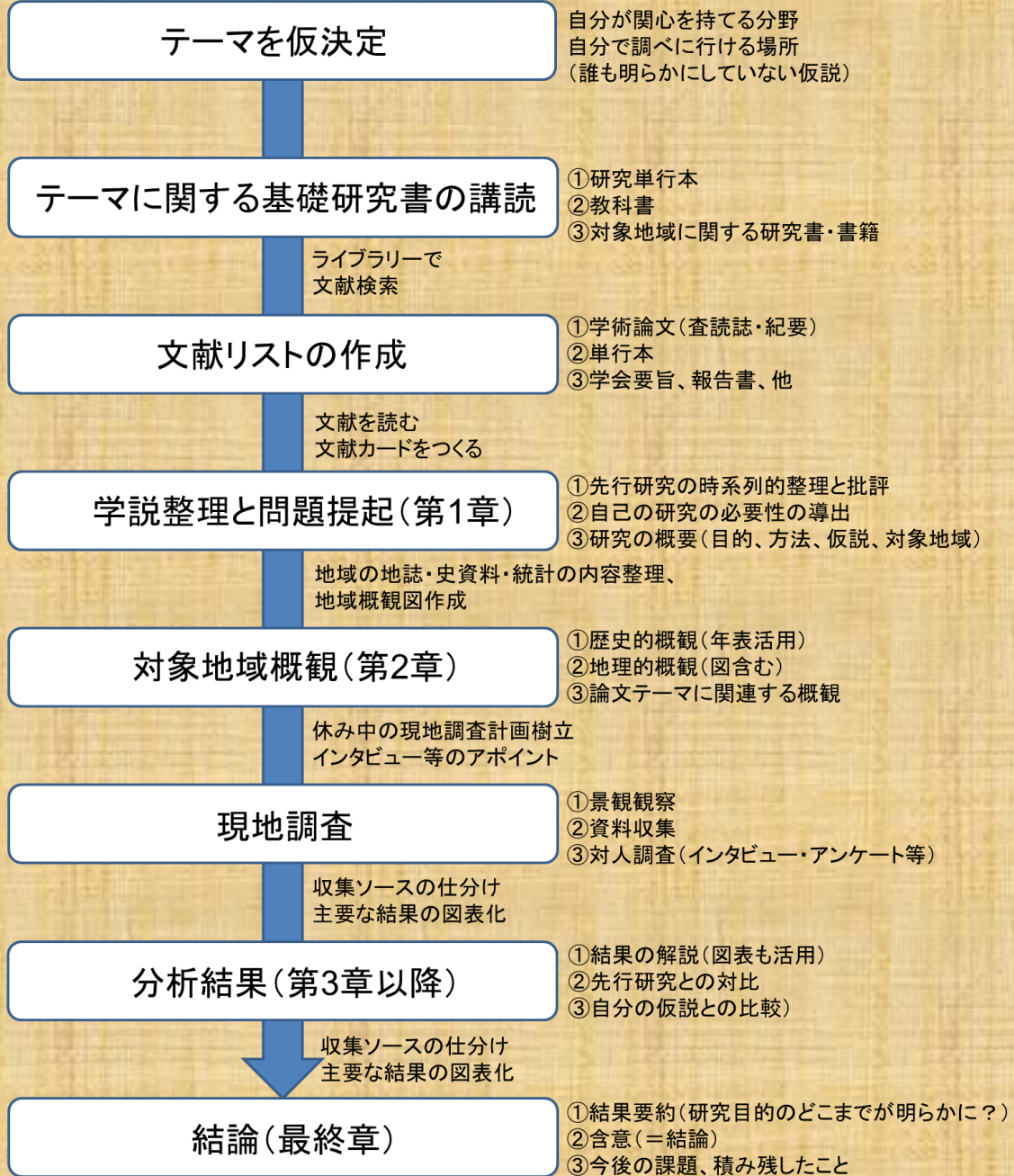
7セメ

各自**卒業研究**にかかります。7セメ目は文献研究や地域予察などの下準備を行い、夏休みに各自調査を行います。8セメ目に卒業論文の執筆を行い、最終発表を経て提出します。

8セメ

26FA  
募集無し

# 轟ゼミでの卒業研究の流れ





ヨンゼミ

# ヨンゼミ

火曜日 5限



Shape Y  
Ritsu  
Asia Pacif

## ■ コンセントレーション

- ・ホスピタリティ産業
- ・観光産業
- ・観光学

## ■ キーワード

- ・観光マーケティング、観光地マーケティング
- ・観光者行動と心理学
- ・観光コンテンツ・経験デザイン

## ■ 教員の研究情報

- ・観光学、心理学、マーケティング、デザイン思考、テクノロジー、地域観光など、複数の学問領域を横断する研究をしています。
- ・<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001572>

## ■ 主な担当授業

- ・観光地マーケティング
- ・サービスエクスペリエンスデザイン
- ・観光学入門
- ・ホスピタリティマネジメント（大学院）
- ・文献講読（英語）

## ■ ゼミの紹介

ヨンゼミでは、「観光マーケティング」、「観光者心理」、「経験デザイン」の3つの柱を軸に、理論と実践を融合させた学びを提供します。現代の観光産業と地域観光が直面する課題に取り組み、革新的なソリューションを生み出す力を養いませんか？共に学び、成長し、観光の未来をデザインしていきましょう。

- ・ **観光マーケティングと観光者行動の探究**：理論と事例を通じて、観光戦略の立案方法を学びます。
- ・ **経験デザインの実践**：観光コンテンツの創造と、魅力的な観光体験の設計手法を習得します。
- ・ **心理学的アプローチ**：観光者の意思決定プロセスや行動パターンを心理学的視点から分析します。
- ・ **産学連携プロジェクト**：地域の観光協会や企業と協働し、実際の観光振興プロジェクトに参加します。



## 2025年ヨンゼミ活動紹介

2025年のヨンゼミでは、6月に別府市鉄輪地域で開催された「鉄輪蒸し通りリズム」に参加し、慶應義塾大学と共同で鉄輪地域に関する研究成果を発表しました。ゼミ生は、地域資源を活かしたコンテンツの企画、マーケティング戦略の立案、現地での運営に至るまで、観光マーケティングに必要な総合的スキルを実践的に習得しました。また、日本総合研究所（The Japan Research Institute）との連携により、京都・東映太秦映画村を起点としたインバウンド観光戦略に関する実践的研究にも取り組み、学外機関との連携を通じたプロジェクト型学習を展開しました。2026年春semesterには、オリックスホテルマネジメント株式会社（ORIX Hotel Management）との連携により、「別府温泉 杉乃井ホテル World Dining Marketing Project」に取り組んでいます。



# 松尾ゼミ



木曜日5限

## ■ コンセントレーション

- 環境学
- 資源マネジメント
- データサイエンスと情報システム

## ■ キーワード

- 再生可能エネルギー・化石エネルギー・原子力
- エネルギーシステム
- カーボンニュートラル
- 地球環境問題

## ■ 教員の研究情報

- エネルギーシステムや気候変動対策に関するモデル分析等について研究をしています

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001647>

## ■ 主な担当授業

- エネルギーマネジメント
- 環境汚染と防止
- 特殊講義（共通教養科目）（九州電力寄附講座）

## ■ ゼミの紹介

当ゼミでは、環境問題、特にエネルギー・気候変動問題について、基礎となる文献やデータを調べ、客観的に分析する知見とスキルを身につけます。一人、もしくは少数のグループでテーマを設定し、文献を読んでまとめ、発表することが求められます。これにより、エネルギーや環境問題について、社会の情勢や最新の動向をもとに分析し、実務や政策提言、研究等に生かせる人材の育成を目指しています。選考にあたっては、自ら興味を持って学習を深め、卒業論文執筆を目標とする学生を優先します。

# 久保ゼミ

木曜日4限 日本語開講



## ■ コンセプトレーション

- 地域づくり
- 観光学
- 環境学

## ■ キーワード

- 持続可能な都市/地域開発
- 都市/地域のグローバル競争力
- 都市/地域デザイン
- 観光まちづくり
- 地域創生

## ■ 教員の研究情報

- 都市や地域のグローバル競争力をどのように高めるかについて研究してます

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001579>

## ■ 主な担当授業

- 都市デザイン
- MICE産業論
- 専門実習（大分銀行寄附講座）
- イギリスフィールドスタディ
- Tourism Policy and Planning（大学院）

## ■ ゼミの紹介

当ゼミの演習では、学生自身が選んだ都市・地域を社会科学の観点から客観的に分析する知見とスキルを身につけます。さらに、分析結果をもとに、都市・地域の持続可能な発展を目指したグローバルな視点での開発の方策について、都市計画、都市デザイン、観光まちづくり、環境保全など様々な切り口から提言できる能力を備える人材育成を目標とします。当ゼミの選考にあたっては、相互学習に努め、卒業論文執筆を目標とする学生を優先します。



# 大橋ゼミ



木曜日4限

## ■ コンセントレーション/ Concentrations

- 地域づくり
- 国際開発
- 観光学

## ■ キーワード/Keywords

- 都市・地域計画、まちづくり
- 空間計画・政策、地方創生
- 都市（再）開発・デザイン、歴史保全
- 防災・減災、環境調和、国土強靱化
- 国際協力

## ■ 教員の研究情報/Research Interest

- 都市・地域計画、空間計画・政策、まちづくりなどに関する研究をしています。

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001654>

## ■ 主な担当授業/Teaching Courses

- サステイナブル都市開発と計画
- Resilient Cities
- Urban Sustainability (大学院)
- Special Studies (Tourism and Hospitality) (大学院)

## ■ ゼミの紹介/Introduction to the Seminar

理論的かつ実践的な両側面から、都市・地域計画、まちづくり、空間計画・政策、都市（再）開発・デザイン、歴史保全、防災・減災などを学び、国内外において持続可能でレジリエントな地域づくりに貢献する人材育成を目標としています。



# 四本ゼミ



火曜日 4限 (暫定)

## ■ コンセントレーション

地域づくり  
観光学  
環境学

## ■ キーワード

持続可能な地域社会、少数民族観光、貧困と観光、地域開発、観光まちづくり、サステイナブルツーリズム、エコツーリズム、農村開発と観光、観光と権力、オーバーツーリズム、観光社会学、観光と移住

## ■ 教員の研究情報/Research Interest

観光による持続可能な地域社会に関する研究をしている。  
<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001497>

## ■ 主な担当授業/Teaching Courses

社会学入門、文献購読I、文献購読II、フィールドスタディー（沖縄）、専門演習、卒業研究、大学院論文指導（修士、博士）

## ■ ゼミの紹介/Introduction to the Seminar

『観光と社会—観光現象を社会的視点から理解する』  
観光を社会に関連して研究したい学生にはこのゼミが当てはまる。このゼミでは、継続してゼミを履修して研究を進めて卒業論文を書き上げる。卒業生は、フードツーリズム、文化観光、遺産観光、観光まちづくり、少数民族観光、持続可能な観光などの研究をおこなってきた。



# 木村ゼミ

金曜日4限（予定；変更の可能性あり）



## ■ コンセントレーション

- 地域づくり
- 国際開発
- 社会起業

## ■ キーワード

- コミュニティ開発
- NGO
- 社会的企業
- 教育

## ■ 教員の研究情報

- カンボジアの社会的企業・NGO、及び大学での教授法を研究しています。

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001483>

## ■ 主な担当授業

- コミュニティ開発論
- 開発社会学人類学
- 東峰村フィールドスタディ
- Community Development (大学院)

## ■ ゼミの紹介

当ゼミでは、参加型開発の手法などを軸に、コミュニティ開発の理論的及び実践的な側面を探求します。グループワークを通してお互いに学び合い、ワークショップや現地調査（福岡県東峰村、別府浜脇地区等）を通して経験的に学ぶことを重視しています。

# 上原ゼミ★



木曜日5限（暫定）

## ■ コンセントレーション

- ✧ 社会企業
- ✧ 地域づくり
- ✧ データサイエンスと情報システム



## ■ キーワード

- ✧ ミッション・マネジメント
- ✧ ソーシャルアントレプレナー
- ✧ 地方創生



## ■ 教員の研究情報

社会課題の1つである難民・避難民問題について最近では調査しています

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001537>



## ■ 主な担当授業

- ✧ ソーシャルアントレプレナーシップ
- ✧ 経営戦略
- ✧ NPO/NGO
- ✧ 南阿蘇フィールドスタディ

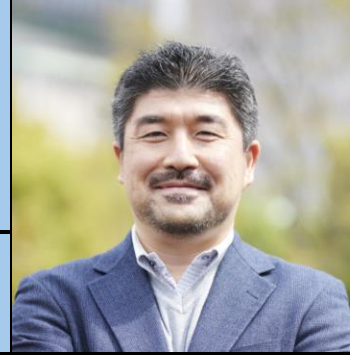


## ■ ゼミの紹介

社会問題に対峙し変革するためには何が必要か。そのための具体的な手法について学ぶとともに、**実践力を重視**したゼミになります。柔軟性や洞察力、新たなものを生み出す創造力、どのような事態にあっても大切なものを手放さず諦めない「しぶとさ」。それらを育み、実際に問題解決に挑戦する学生のみなさんをお待ちしています。具体的な「活動」を展開するため、「実行」を楽しむことができる学生向けのゼミになります。



# 狩野ゼミ



木曜日4限

## ■ コンセントレーション

- データサイエンスと情報システム
- 地域づくり
- 社会起業

## ■ キーワード

- デジタルトランスフォーメーション (DX)
- 地方創生
- デザイン思考
- 社会起業

## ■ 教員の研究情報

地域や行政におけるDXのあり方や進め方について研究しています  
<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001664>

## ■ 主な担当授業

- ニューテクノロジーと未来社会
- 社会科学のための統計学
- 専門実習 (地域DX)
- 政策学入門
- ブリッジプログラム

## ■ ゼミの紹介

当ゼミでは、地域や自治体が抱える公共課題のうち自らが設定したテーマについて、DXを念頭に置きながら、課題の探索・特定及び解決策の導出・具体化を行います。活動を通じて得られた知見は、卒業論文の作成を見据えて体系的に整理するとともに、意欲と成果に応じて、学会や自治体への発表も検討します。将来、公共課題の解決に何らかの形で取り組む意欲を持つ学生を歓迎します。

# Kazem Seminar

Monday 4<sup>th</sup> period (provisional)



## ■ Concentrations

- Tourism Studies
- Resource Management
- Environmental Studies

## ■ Research Interest

- Linking global and local initiatives in revitalization of local communities through tourism

- Visit here for more information:  
<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001505&Language=2>
- Visit here for my monthly webinar series:  
[www.scotwebinars.org](http://www.scotwebinars.org)

## ■ Introduction of the seminar

In this seminar, students will apply theoretical studies in the field of tourism development and local revitalization in rural and urban environments. By visiting local communities and regional areas, students will practice resource assessment and planning for tourism based and sustainable development. We utilize international initiatives from UN Tourism (BTV) and UNFAO (GIAHS) as case studies in our field works.

## ■ Keywords

- Sustainable Tourism
- Heritage Tourism
- Rural Tourism
- UN Tourism/UNFAO

## ■ Current Courses

- Rural Tourism
- Community-based Tourism (Graduate and undergraduate)
- Special Lecture



# カゼムゼミ

月曜日4限（暫定）



## ■ コンセンテーション

- ・ 観光学
- ・ 環境学
- ・ 資源マネジメント

## ■ 教員の研究情報

- ・ 観光を通じた地域コミュニティの活性化におけるグローバル及びローカルな取り組みの連携

- 研究情報の詳細:  
<https://researcher.apu.ac.jp/apu/p/KgA?resId=S001505&Language=2>
- 月例ウェビナーシリーズの詳細:  
[www.scotwebinars.org](http://www.scotwebinars.org)

## ■ ゼミの紹介

当ゼミでは、農村や都市環境における観光開発及び地域活性化の分野における理論的研究を応用します。地域を訪問することで、観光をベースとした持続可能な開発のための資源評価やプランニングを実践します。UN Tourism(BTV)やUNFAO(GIAHS)の国際的な取り組みをケーススタディとして活用します。

## ■ キーワード

- ・ サステナブルツーリズム
- ・ 遺産観光
- ・ 農村観光
- ・ UN Tourism/UNFAO

## ■ 主な担当授業

- ・ 農村観光
- ・ コミュニティベースツーリズム (学部生・院生)
- ・ 特殊講義



## 笛吹ゼミ



## キーワード

動物と観光  
多種多様な生物の持続可能性  
野生動物保護  
環境教育  
人間と人間以外の動物の関係

## 担当科目

サステイナブル・ツーリズム  
スペシャル・インタレスト・  
ツーリズム  
ワイルドライフ・ツーリズム  
(専門実習)  
生物多様性  
文献購読 I & II

## 研究の関心

ワイルドライフ・ツーリズムを含む自然観光について、幅広い関心を持っています。マルチスピーシーズという視点から多種多様なアクターの関係性を捉えサステイナブルな観光のあり方を研究しています。

## コンセントレーション

観光学  
環境学  
地域づくり

ワイルドライフ・ツーリズムを含む自然観光は、資源が乏しい地域に発展の機会を提供すると同時に、自然資源の保全に貢献する可能性を秘めています。しかし、それを実現するためには、人間以外の生物を含む全てのステークホルダーのニーズを考慮した計画的なマネジメントが必要不可欠です。当ゼミでは、観光客の経験や意識、観光における動物倫理に関する問題、自然資源を利用した地域活性化など、自然を資源とした観光に関連する様々なトピックを取り上げます。当ゼミの選考にあたっては、自然観光に関するテーマで卒業論文の執筆を希望する学生を優先します。特に観光地における自然保護、動物倫理、人間と動物の関わり等に関心のある学生は、是非、事前にご相談ください。



笛吹理絵 Ph.D.  
Office: J312  
rieusui@apu.ac.jp



## USUI SEMINAR

KEYWORDS

- ANIMALS & TOURISM
- MULTISPECIES
- SUSTAINABILITY
- WILDLIFE CONSERVATION
- ENVIRONMENTAL
- EDUCATION
- HUMAN & NHA
- INTERACTIONS

COURSES TAUGHT

- SUSTAINABLE TOURISM
- SPECIAL INTEREST
- TOURISM
- WILDLIFE TOURISM (PRACTICUM)
- BIODIVERSITY
- CRITICAL READING I & II

RESEARCH INTERESTS

I have a wide range of interests pertaining to nature-based tourism, including wildlife tourism. My approach to the research inquiry is influenced by a more-than-human perspective.

CONCENTRATIONS

- TOURISM STUDIES
- ENVIRONMENTAL STUDIES
- REGIONAL DEVELOPMENT

Wildlife tourism has the potential to contribute to natural resource conservation while giving opportunities for local communities with limited resources to develop. However, achieving this requires well-planned management strategies that consider the needs of all stakeholders, including non-human others. This seminar explores various topics related to nature-based tourism including, but are not limited to, tourist experiences and perceptions, animal ethics in tourism, and community revitalization. Priority for this seminar will be given to students aspiring to write a graduation thesis on related topics. Those interested in nature conservation, animal ethics, and human-animal interactions are welcome to join! I am open to consultation upon request.



Rie Usui, Ph.D.  
Office: J312  
rieusui@apu.ac.jp

# Han Seminar

## Thursday 4th period (provisional)



### ■ Concentrations

- Resource Management
- Environmental Studies
- Regional Development

### ■ Keywords

- Circular Society
- Low-carbon Society
- Carbon Footprint
- Environmental Policy
- Urban Ecosystem Services

### ■ Research Interest

The impacts of urbanization on ecosystem services, resource use, and climate change, as well as the ways to improve people's wellbeing.

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001655&Language=2>

### ■ Teaching Courses

- Resource Management
- Circular Economy
- Environmental Policy
- Climate Change
- Introduction to Environmental Studies

### ■ Introduction to the Seminar

Students will acquire the knowledge and skills to analyze the impacts of urbanization on ecosystem services, resource use, and climate change. The seminar aims to foster experts who can propose strategies to improve people's wellbeing through sustainable urban development. Lectures will be given by means of literature reading compatible with their interested topic, presentation, and group discussion. Students will be trained and expected to write thesis or reports in the future.

# 韓ゼミ

木曜日4限（暫定）



## ■ コンセントレーション

- 資源マネジメント
- 環境学
- 地域づくり

## ■ キーワード

- 循環型社会
- 低炭素社会
- カーボンフットプリント
- 環境政策
- 都市生態系サービス

## ■ 教員の研究情報

都市化が生態系サービス、資源利用、気候変動に与える影響、および住民の福祉を向上させる方法に関する研究を行っています。

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001655>

## ■ 主な担当授業

- 資源マネジメント
- Circular Economy
- Environmental Policy
- Climate Change
- Introduction to Environmental Studies

## ■ ゼミの紹介

当ゼミでは、都市化が生態系サービス、資源利用、気候変動に与える影響を客観的に分析する知識とスキルを身につけます。また、持続可能な都市開発を通じて住民の福祉を向上させるための戦略を提言できる人材の育成を目指します。テーマに適合的な文献講読、学生による個人発表、グループ発表、全体での討論、少人数での討論等の方法で講義を行う。ゼミでは学生の討論への参加、プレゼンテーションの実施、レポート作成などが求められる。

# 山根ゼミ



## 時間割:木曜日4限

※5限目に4回生ゼミ。4回生ゼミへの参加も歓迎します。

### ■ コンセントレーション

- 国際開発
- データサイエンスと情報システム
- 環境学

### ■ キーワード

- 持続可能な開発/SDGs
- サステナブルな行動
- 国際協力
- 開発経済
- 教育開発
- 統計分析・データ分析

### ■ 教員の研究情報

最近、サステナブルな行動、開発途上国の教育、国際援助などに関する研究を行っています。

<https://www.apu.ac.jp/~tomomi/>

### ■ 主な担当授業

- 持続可能な開発入門(E)
- 開発と経済(E)
- Advanced Data Analysis and Statistics (E 大学院)

### ■ ゼミの紹介

当ゼミの演習では、学生が自ら選んだ社会課題を社会科学の視点から客観的に分析するための知識と技能を習得します。私の専門分野は上記のキーワードや教員の研究情報で示されている通りですが、幅広いテーマを量的(統計)手法で分析し、政策提言を行う能力を育成することを目指しています。テーマの設定は自由ですが、卒業成果物には何らかの統計分析を取り入れてください。統計分析は簡単なもので構いません。必要に応じて日本語での補足説明も行いますが、基本的には英語で進めます。卒業論文やレポートは、日本語と英語のいずれでも提出可能です。

# Yamane Seminar



## Timetable: Thursday 4<sup>th</sup>

4<sup>th</sup> year seminar is on the 5<sup>th</sup> period, You are welcome to attend both.

### ■ Concentrations

- International Development
- Data Science & Information System
- Environmental Studies

### ■ Keywords

- Sustainable Development/SDGs
- Sustainable Behavior
- International Cooperation
- Development Economics
- Educational Development
- Statistical Analysis/Data Analysis

### ■ Research Interest

Recently, my research has focused on sustainable behavior, education in developing countries, and international aid.

<https://www.apu.ac.jp/~tomomi/>

### ■ Current Courses

- Intro to SD(E, J)
- Development and Economics(J)
- Advanced Data Analysis and Statistics (E GSA)

### ■ Introduction of the Seminar

In this seminar, students will acquire the knowledge and skills to objectively analyze social issues they have chosen themselves from a social science perspective. Although my areas of expertise are primarily those indicated by the keywords and my research information, **students can choose a wide range of topics.** The goal is to develop the ability to make informed policy recommendations using quantitative methods (statistical analysis). **Graduation theses and reports should include some form of statistical analysis, but even a simple analysis is acceptable. While supplementary explanations can be provided in Japanese, if necessary, the primary language of instruction will be English.** Graduation theses and reports can be submitted in either Japanese or English.

# NISH Seminar



Monday 4<sup>th</sup> period (provisional)

## ■ Concentrations

- Data Science and Information System
- Environmental Studies
- Hospitality Operation

## ■ Keywords

- Digital Transformation
- Generative AI
- Learning Management Systems
- NFT and DAO ; Crowdsourcing
- Precision Agronomy & Systems

## ■ Research Interest

- Designing of state-of-the-art Internet Mashups for industry
- AI driven support system development for JOB matching and HRD for Japan's JOB market

## ■ Current Courses

- [Introduction to GISEA](#)
- [Internet Technologies and ApplicationsEA](#)
- [Information LiteracyEA\(OnDemand\)](#)

## ■ Introduction of the Seminar

This seminar will focus on digital transformation's impact on urban development. We aim to cultivate professionals capable of proposing innovative, sustainable development strategies by integrating cutting-edge technologies such as Generative AI and data science. Key areas include AI-driven job matching systems, digital transformation in urban planning and tourism, NFTs and DAOs in urban ecosystems, and crowdsourcing for social entrepreneurship. The seminar covers urban planning, design, tourism development, precision agronomy, and environmental conservation. Priority will be given to students who are eager for mutual learning and committed to writing a thesis that contributes to smart, sustainable city development.

# NISH ゼミ



月曜日 4限(暫定)

## ■ コンセントレーション

- データサイエンスと情報システム
- 環境学
- ホスピタリティ産業

## ■ キーワード

- デジタルトランスフォーメーション
- 生成AI
- 学習管理システム
- NFTとDAO、クラウドソーシング
- 精密農業 と観測システム

## ■ 教員の研究情報

- 産業向け最先端アプリの設計
- AI駆動型支援システム
- 精密農業システム設計
- 求人マッチングと人材開発システム

## ■ 主な担当授業

- [地理情報システムの紹介](#)
- [インターネット技術と応用](#)
- [情報リテラシー\(オンデマンド\)](#)

## ■ ゼミの紹介

このセミナーは、デジタルトランスフォーメーションが都市開発に与える影響に焦点を当てます。生成AIやデータサイエンスなどの最先端技術を統合することで、革新的で持続可能な開発戦略を提案できる専門家の育成を目指します。主要分野には、AI駆動型求人マッチングシステム、都市計画と観光におけるデジタルトランスフォーメーション、都市エコシステムにおけるNFTとDAO、ソーシャル・アントレプレナーシップのためのクラウドソーシングが含まれます。セミナーでは、都市計画、デザイン、観光開発、精密農業、環境保全を取り扱います。相互学習に意欲的で、スマートで持続可能な都市開発に貢献する論文の執筆に取り組む学生を優先します。

# ダハランゼミ

金曜日4限（暫定）



## ■ コンセントレーション

- データサイエンスと情報システム
- 観光学
- ホスピタリティ産業

## ■ キーワード

- データサイエンスとAI
- 観光データサイエンス
- ソーシャルメディアデータ活用
- ビッグデータ活用
- データ可視化・解析

## ■ 教員の研究情報

ソーシャルビッグデータを活用した  
観光行動分析

[https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/  
KgApp?resId=S001434](https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001434)

## ■ 主な担当授業

- 情報処理入門
- 社会科学のための統計学
- 応用統計解析
- プログラミング
- 特殊講義（ICT）

## ■ ゼミの紹介

当ゼミの演習では、データ分析を行うための知識や、AIシステムを実装するのに欠かせないPythonやデータ可視化、データ解析、機械学習、ディープラーニングなどの専門知識と技術を身につけます。また、Pythonを使ってプログラミングを演習し、書籍や論文、資料などを読んでデータサイエンス活用の試せる力を身に付けます。観光やホスピタリティ産業、環境調査分析の現場で、データサイエンスやAIを活用するための基礎力を身に付ける人材育成を目標とします。



## セミナーの流れ(3回生・4回生)

### 第5セメ

- 理論的枠組みと研究方法
- データサイエンス研究の実践演習

### 第6セメ

- 卒論テーマの決定
- 文献レビュー
- 調査方法の決定

### 第7セメ

- 卒論の焦点の確定
- データ収集
- データ分析と可視化

### 第8セメ

- 論文の執筆と提出
- 最終プレゼンテーション

# DAHLAN Seminar



Friday 4th period (provisional)

## ■ Concentrations:

- Data Science & Information System
- Tourism Studies
- Hospitality Operation

## ■ Keywords:

- Data Science and AI
- Tourism Data Science
- Social Media Data Utilization
- Utilization of big data
- Data Visualization & Analysis

## ■ Research Interest:

Tourism behavior analysis using social media big data

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001434>

## ■ Current Courses:

- Introduction to Information Processing
- Statistics for the Social Sciences
- Applied Statistical Analysis
- Programming
- Special Lectures (ICT)

## ■ Introduction of the Seminar:

In this seminar, students will gain knowledge in data analysis, as well as specialized skills including Python programming, data visualization, machine learning, and deep learning essential for implementing data science and AI systems. Additionally, students will practice Python programming and explore data science through reading books, papers, and other materials. Our objective is to cultivate individuals who possess foundational skills in utilizing data science and AI in the tourism, hospitality industry, and environmental research.



# Seminar Flow (3<sup>rd</sup> year and 4<sup>th</sup> year)

5<sup>th</sup> Semester

- Theoretical framework and Research methods
- Practice in data science research

6<sup>th</sup> Semester

- Determination of thesis topic
- Literature Review
- Research Methodology

7<sup>th</sup> Semester

- Finalize thesis focus
- Data collection
- Data analysis and visualization

8<sup>th</sup> Semester

- Writing and submission of thesis
- Final presentation

# 胡ゼミ/HU Seminar



木曜日4限（暫定）/Thursday 5<sup>th</sup> period (provisional)

## ■ コンセントレーション/Concentrations

- データサイエンスと情報システム
- 地域づくり
- 観光学
- Data Science & Information System
- Regional Development
- Tourism Studies

## ■ キーワード/Keywords

- 情報システム/データサイエンス
- AI アプリケーション
- 学際的研究
- Information System / Data Science
- AI Applications
- Interdisciplinary Research

## ■ 教員の研究情報/Research Interest

- 最先端の情報技術を活用して、現実の学際的な問題に取り組みます。
- Apply state-of-the-art information technologies to address real-world interdisciplinary problems.

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001687>

## ■ 主な担当授業/Teaching Courses

- ビッグデータ分析
- 社会調査法入門
- Big Data Analysis
- Introduction to Research Methods

## ■ ゼミの紹介/Introduction to the Seminar

このゼミでは、実社会の課題を題材に、ビッグデータとAIの応用可能性を探究します。学生はデータの収集・分析を実践的に体験し、その成果を踏まえてAI活用の戦略を考察します。観光、医療、都市計画など幅広い分野におけるデータとAIの可能性を、論理的思考力を備えた学生と共に追究していきます。

In this seminar, we explore the potential applications of big data and AI through real-world challenges. Students will gain experience in data collection and analysis, and based on their findings, they will develop strategies for leveraging AI. Together with students who bring strong logical thinking skills, we will investigate how data and AI can be applied across diverse fields such as tourism, healthcare, and urban planning.

# **Current Trends of ESG in Tourism, Hotel and Event Industry**

*BUI Thanh Huong (Prof. of Tourism and Hospitality Management)*

## **Thursday 5<sup>th</sup> Period**

### **Concentrations**

Tourism Studies  
Tourism Industry Operations  
Hospitality Operation

### **Keywords**

Economic, Social & Environmental Impacts  
Assessment  
Evidence-based decision making  
Methods of assessment

### **Teaching Subjects**

Tourism Economics  
Event Management  
Revenue Management

### **Research Interest**

Tourism Operations  
Tourism Impact Assessments  
ESG movement tourism and hotel  
businesses

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001538&Language=2>

### **Seminar Introduction**

ESG stands for Environment, Society, and Governance, is the current practice of reporting sustainability to attract green investment. The seminar offers insights into the implementation of ESG standards in tourism and hospitality firms. To understand the trends and impacts of the ESG in tourism and hospitality businesses, students will learn methods to collect and process relevant data using Econometrics (using secondary data) and Psychometrics (gathering primary data) tools. Upon completion of the seminar series, students can conduct evidence-based investigations to write their thesis or projects on ESG implementation in tourism, hospitality, and events.

# The PICOS framework

P

- Population
- Who is facing the problem or situation to be addressed?

I

- Intervention or Exposure
- How might problems be tackled? What intervention might be used? What exposure (unintentional occurrence) is it?

C

- Comparison (new and existing options)
- What is the alternative?

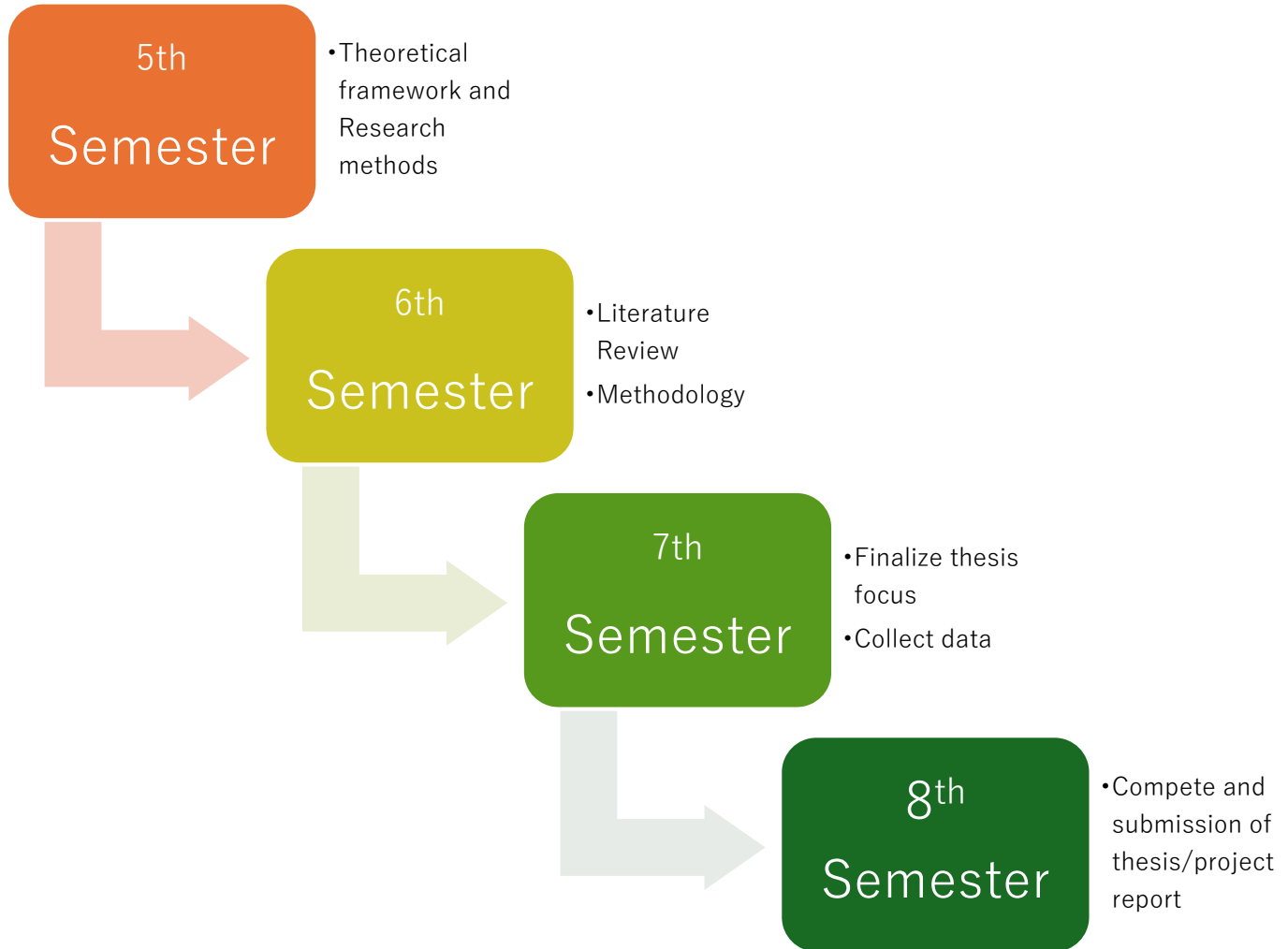
O

- Outcomes
- What are you trying to achieve? How to measure the outcome?

S

- Study type
- What type of study is likely to explore your questions?

# Seminar Flow (3<sup>rd</sup> year and 4<sup>th</sup> year)



# SUNNY's seminar

●Thursday ●4th period (provisional)

## ■ コンセントレーション / Concentrations

- Hospitality Operation
- Tourism Studies
- Tourism Industry Operations

## ■ キーワード/Keywords

- Hospitality & Tourism
- Integrate Information and Communications Technologies (ICTs)

## ■ 教員の研究情報/Research Interest

- Hospitality & Tourism
- Mobile Payment
- Robotic Technology

## ■ 主な担当授業/Teaching Courses

- Strategic Management
- Hospitality Operations
- Resort Management
- Food & Beverage Operations
- Destination Marketing
- Tourism in the Asia Pacific (Graduate school)

## ■ ゼミの紹介/Introduction to the Seminar

- Students will be able to understand the whole process of research, learn how to integrate ICTs into your research topic relating to hospitality and tourism, and to cope with the recent trend and the evolution of ICT.



# DR. JONES' ZEMI

Welcome to APU in Beppu Bay, Oita, Japan! This is the Website of Professor Thomas JONES from APU's new college of Sustainability & Tourism.



Thomas Jones, Professor.

<https://sites.google.com/view/jones-zemi/home>

Ritsumeikan APU, College of Sustainability and Tourism

[https://www.researchgate.net/profile/Thomas\\_Jones55](https://www.researchgate.net/profile/Thomas_Jones55)

Orcid: 0000-0002-4097-1886

# Jones Seminar

<https://sites.google.com/view/jones-zemi/home>

Orcid: 0000-0002-4097-1886



## ■ Concentrations

- Environmental Studies
- Resource Management
- Regional Development

## ■ Research Interest

- Natural resource conservation; Environmental Policy, Sustainable Tourism; Protected Areas, Regional Development; National Parks; Geoparks; Wildlife Tourism

<https://www.researchgate.net/>

[profile/Thomas\\_Jones55](https://www.researchgate.net/profile/Thomas_Jones55)



## ■ Keywords

- "Leave no trace" (LNT)
- Sustainability & SDGs
- UNESCO World Heritage Sites
- Nature-based tourism
- International visitor segments

## ■ Current Courses

- Biodiversity
- Parks & Protected Areas
- Natural Resource Management and Environmental Conservation\*

\*MSc

## ■ Introduction of the Seminar

This seminar explores issues in Environmental management, especially SDGs & Sustainability. We will examine visitor management issues at national parks and UNESCO World Heritage Sites to consider natural resource conservation, carrying capacity and visitor experience. Through analysis of case studies and hands-on examples, students gain insight into the sustainable development of Parks & Protected Areas via conceptual or empirical frameworks e.g. LNT.

# MEIRMANOV Serik Seminar



月曜日4限（暫定）/Monday 4th period (provisional)

## ■ Concentrations

- International Development
- Tourism Studies
- Environmental Studies

## ■ Keywords

- Health and Wellness Tourism
- Health Science
- Psychology
- Leadership
- Higher Education

## ■ Research Interest

- Public Health, Psychology, Higher Education

<https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001494&Language=2>

## ■ Current Courses

- Health and Wellness Tourism

## ■ Introduction of the Seminar

This research-based seminar explores the intersection of health science, psychology, and leadership within the thriving field of health and wellness tourism. Students will choose a specific area of interest within this field to research and analyze, gaining a deeper understanding. Students will have the freedom to choose a specific topic within this broad domain and conduct in-depth research, culminating in the creation of a comprehensive thesis.

This is your chance to make a meaningful contribution to this rapidly evolving field while honing your research and analytical skills.



# KC Seminar

Tuesday 4<sup>th</sup> period (provisional)

## ■ Concentrations

- International Development
- Social Entrepreneurship
- Regional Development

## ■ Keywords

- Civil Society, Governance, Effectiveness, Management of NPOs, NGOs, and Social Enterprises

## ■ Research Interest

- Role of third sector organizations in development
- <https://researcher.apu.ac.jp/apuhp/KgApp?resId=S001691&Language=2>

## ■ Current Courses

- NPO/NGO
- Social Entrepreneurship
- Introduction to Policy Studies
- Introduction to Sociology

## ■ Introduction of the Seminar

This seminar will explore issues in the management and governance of NPOs, NGOs and social enterprises. We will examine topics including foreign aid dynamics and the push for localization in development, organizational effectiveness and innovation in the non-profit sector, governance structures and board roles in NPOs and NGOs, funding patterns and resource allocation in civil society organizations, spatial distribution and geographic choices of NGOs, and impacts of external shocks like pandemics. Through analysis of empirical studies and case examples, you will gain insight into the factors shaping these organizations' work.